

社会科学習指導案

単元名「武家政権の成長と東アジア」〔学指要領：(2)、イ、(7)〕

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時 〇年〇組教室
〇〇〇〇〇〇〇〇中学校 〇年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 単元（題材）の構想

1 単元（題材）の目標及び児童（生徒）の実態

	目 標	児童（生徒）の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料から、武士が朝廷と結びついて政治へ進出していくことや御恩と奉公をはじめとする政策を行うことで、武士団のつながりを強めていったことを読み取り、武家政治の成立と推移を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から、おおよその事実を読み取ることができる生徒が多いが、資料から正確に情報や因果関係を読み取ることができるように支援する必要がある。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 武家政治が成立し、展開していく理由について、朝廷との結びつきや貿易の独占、地方支配のしくみなどの観点から多面的に考察し、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> その時代の特徴を前の時代と比較して、特徴を捉えることのできる生徒は半数程度いるが、時代を大観して時代の特徴について、重要語句を用い、適切に表現できるようにする必要がある。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 武家政治の特色を、様々な観点から捉えようとしたり、貴族の政治との違いに着目したりしながら、主体的に追究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 前単元の「展開する天皇・貴族の政治」では、各単位時間の学習で学んだことを生かし、貴族の政治が展開した理由について、大半の生徒が自分の言葉で振り返ることができた。

2 評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料から、武士が朝廷と結びついて政治へ進出していくことや御恩と奉公をはじめとする政策を行うことで、武士団のつながりを強めていったことを読み取り、武家政治の成立と推移を理解している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 武家政治が成立し、展開していく理由について、朝廷との結びつきや貿易の独占、地方支配のしくみなどの観点から多面的に考察し、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 武家政治の特色を、様々な観点から捉えようとしたり、貴族の政治との違いに着目したりしながら、主体的に追究しようとしている。

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全6時間：本時第3時） ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料から、中世の日本の様子を理解し、単元の課題を設定する。(あ) (a) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 単元の課題 平安時代後半からの政治の主役は、なぜ武士へと移り、どのように広まったのか。 </div>			○
2	<ul style="list-style-type: none"> 荘園・公領をめぐる各地の争いが朝廷と武士の結びつきを強めたことを理解する。(あ) 	○		
3	<ul style="list-style-type: none"> 武士が政治の実権を握ることができた理由について多面的に考察する。(あ) 		○	
4	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料から、鎌倉幕府の特色を掴み、住民や土地を支配した仕組みを理解する。(あ) (a) 	○		
5	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉時代の文化や仏教は、武士を主体にして広まったことを理解する。(あ) 	○		
6	<ul style="list-style-type: none"> 単元の課題について、これまでの学習を活用し、自分の言葉で振り返る。(あ) (い) 	●	●	●

*活用する学習支援ソフト等：(あ) ミライシード／オクリンク (い) Google ドキュメント

*活用するコンテンツ等：(a) NHK for school／帝国書院

II 本時の学習 (3/6)

1 ねらい 複数の資料から、武士が朝廷と結びついていることを多面的に捉える活動を通して、平清盛ら平氏が政治への影響力をもつようになった理由を説明できるようにする。

2 展開

【★ICT活用に関する事項】

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕	主な発問 ○指導上の留意点 ◆評価項目 (観点)
<p>1 本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>S：武士が貴族よりも立場が上なのは、なぜだろう。</p> <p>S：平氏って、武士だけどそんなに偉いのか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて></p> <p>どのように、平氏は力をつけたのだろうか。</p> </div>	<p>○平氏が社会的に大きな力をもっていたことを理解できるように、平家物語の一文を提示したり、厳島神社の写真を提示したりする。 【★提示】</p> <p>○資料から平氏の地位が向上したことを理解できるように、本来、武士は貴族に使える立場であることを前時の授業から確認する。</p>
<p>2 平氏が社会に大きな影響力をもつことができたようになった理由について資料から考える。(35分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「平清盛たち平氏はどのようにして、大きな力を手に入れることができたのだろうか。」</p> </div> <p>S：平清盛が力を持ったのは、二度の戦(保元・平治の乱)に勝利したことが原因だと思う。</p> <p>S：平清盛は、娘を天皇の后にして、その子を天皇にしたことで、天皇と関係の近い立場になった。この方法は、藤原氏の摂関政治と似ている。</p> <p>S：平清盛は、瀬戸内海の航路を整え、日宋貿易の利益を独占したことで、大きな経済力を得た。</p> <p>S：平氏は政治や富を独占することで、大きな力を手に入れたが、貴族や寺社、平氏以外の武士から不満をもたれてしまうことも分かった。</p> <p>S：出た意見から、平氏が力を得た理由は3つある。</p>	<p>○平氏の地位が向上した理由を、多面的に考察できるようにできるように、「大きな力」とは、政治的な権力や武士社会における名声、経済力など幅広い分野に影響する力であることをおさえる。</p> <p>○協働的に学習を進め、学習に主体的に関わることができるよう、三つの考察の視点を提示し、自分で調べる観点を選ばせる。 【★意見交換、資料提示】</p> <p>○個人学習の後、小集団での意見交流を行う。その際、多面的な理由から平氏の地位の向上を考えられるように、班員の意見やクラスの仲間の意見を参考にしよう指示をしたり、提示するワークシートを工夫したりする。</p> <p>○学級全体で学習内容を確認する際、学習内容を関連づけて理解し、まとめに生かせるように、生徒から出た意見を結びつけたり、因果関係を強調したりするなど構造化して、板書を行う。</p>
<p>3 本時のめあてに対するまとめを行う。(10分)</p> <p>S：平清盛は、様々な面において力を手に入れていることが分かった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><まとめ></p> <p>平清盛は二度の戦に勝利したり、娘を天皇の后にしたりして天皇の結びつきを強くしたことで、政治の実権を握った。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><振り返り></p> <p>S：平清盛という人物がいたことは知っていたが、彼がどうやって力を手に入れたか分かった。では、源氏はどのようにして力を手にし、鎌倉に幕府を開くことになったのだろうか。</p> </div>	<p>◆評価項目 (思・判・表)</p> <p>平清盛ら平氏の地位が向上した理由について、複数の視点から考察し、学習した用語を用いながら説明することができる。(発言・ワークシート)</p> <p>○学習した内容を複数回、自分の言葉で表現できるよう、「歴史人物カード」の作成に取り組む。 【★発展的学習】</p>